

令和6年度 第2回朝倉市地域公共交通活性化協議会

日時 令和6年9月26日(木)10:00～		場所 旧甘木・朝倉市町村会館 大会議室
(次 第)		
1. 開 会		
2. あいさつ		
3. 議 事		
(1)協議事項		
●市街地循環線の見直し(案)について【別添パンフレット参照】		
・現在の利用状況 (P3～P4)		
・見直し(案)の提案 (P5～P10)		
(2)その他		
4. その他		
次回日程 令和6年11月頃を予定(会場未定)		
5. 閉 会		

(R6. 6現在)

朝倉市地域公共交通活性化協議会 名簿

No	氏 名	所 属 団 体 等	選 出 区 分	任 期	備 考
1	小森 正道	朝倉市市区会長理事会	朝倉市市区会長理事会	R6. 6. 1～R8. 5. 31	新任
2	江藤 賢三	朝倉市市区会長理事会	朝倉市市区会長理事会	R6. 6. 1～R7. 5. 31	交代
3	溝田 浩	朝倉市市区会長理事会	朝倉市市区会長理事会	R6. 6. 1～R7. 5. 31	交代
4	床嶋 春樹	朝倉市コミュニティ協議会会長会	朝倉市コミュニティ協議会会長会	R6. 6. 1～R7. 5. 31	交代
5	原野 晶子	シニアクラブ連合会	公共的団体等	R6. 6. 1～R8. 5. 31	再任
6	末竹 幹男	社会福祉協議会	公共的団体等	R5. 6. 1～R7. 5. 31	
7	友岡 重久	身体障がい者福祉協会	公共的団体等	R5. 6. 1～R7. 5. 31	
8	上野 孝徳	甘木鉄道 (株)	公共交通事業者	R6. 6. 1～R8. 5. 31	再任
9	池田 舞	西日本鉄道 (株)	公共交通事業者	R6. 6. 1～R8. 5. 31	新任
10	下川 裕二	西鉄バス久留米 (株)	公共交通事業者	R6. 6. 1～R8. 5. 31	再任
11	池野 栄次	(株) 甘木観光バス	公共交通事業者	R6. 6. 1～R8. 5. 31	再任
12	矢野 正洋	矢野タクシー (株)	公共交通事業者	R6. 6. 1～R8. 5. 31	再任
13	村岡 智継	ひまわりタクシー (有)	公共交通事業者	R6. 6. 1～R8. 5. 31	新任
14	飯田 宏二	安全タクシー (株)	公共交通事業者	R5. 6. 1～R7. 5. 31	
15	生野 雄二	バス運転手組織	公共交通事業者	R5. 6. 1～R7. 5. 31	
16	栗山 隆巳	朝倉警察署交通課長	公安委員会 (朝倉警察署)	R6. 6. 1～R8. 5. 31	新任
17	中島 慎大朗	福岡県朝倉県土整備事務所 地域整備主幹	道路管理者 (県土整備事務所)	R6. 6. 1～R8. 5. 31	新任
18	三重野 直美	企画・地域振興部交通政策課	福岡県	R6. 6. 1～R7. 5. 31	交代
19	佐々木 哲治	朝倉市	朝倉市	R6. 6. 1～R8. 5. 31	再任
20	井上 信昭	元 福岡大学工学部教授	学識経験者	R6. 6. 1～R8. 5. 31	再任
21	古賀 秀策	九州運輸局福岡支局	福岡運輸支局長又はその指名する者	R6. 6. 1～R8. 5. 31	新任

甘木市街地循環線利用状況（R5 年度甘観バス乗降調査より）

甘木市街地循環線運行概要

- 運行日 全日運行
- ダイヤ 平日土15便（右回り10便【45人乗りバス車両】、左回り5便【10人乗りあいのり車両】）
日祝日10便（右回り5便、左回り5便）【45人乗りバス車両】
- 特徴
- ・甘木市街地における公共交通の構築と充実に平成25年4月から運行を開始。
 - ・甘木市街地は、公共施設、病院施設、商業施設が集積しており、それらを結ぶ主要な路線。
 - ・甘木市街地循環線の主要バス停は、幹線路線バスや電車、高速バス等と接続しており、市外から市街地を結ぶ重要な交通結節点としての機能を有す。

甘木市街地循環線分析

【*（2）～（6）については、6、9月の平日・土曜日各1日の乗降調査（右回りのみ）の平均値】

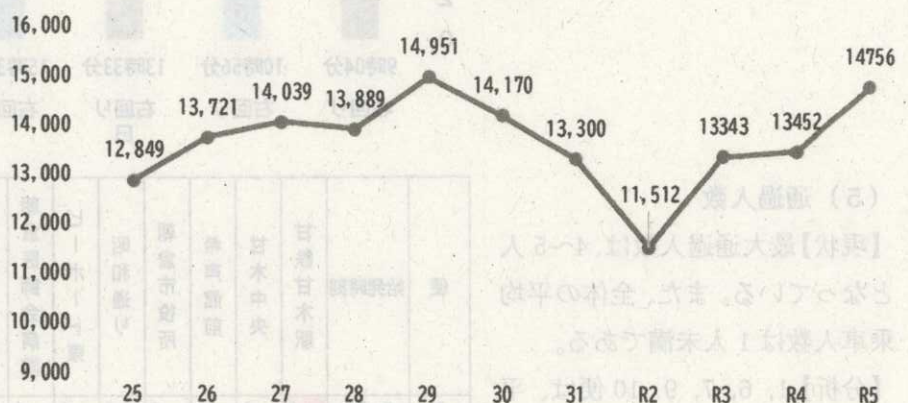
（1）利用者数

【現状】運行開始以降、11,000～15,000人で推移。また、平日の左回りは、美奈宜の杜線と接続しており、美奈宜の杜線から1193人（R5）の利用がある。

（右；11,302人、左；3,454人）

【分析】他路線が減少傾向の中、維持しており、市街地の移動手段として定着していると思われる。

利用者数の推移

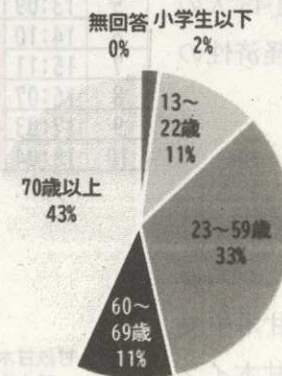


（2）階層別利用者数

【現状】70歳以上が4割以上を占め、次に23～59歳が多い。

【分析】様々な年齢層に利用されているが、半分以上が60歳以上の高齢者である。

階層別利用者数 乗降調査平均

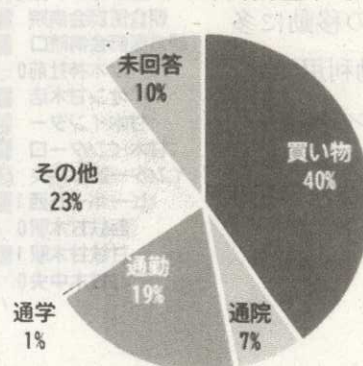


（3）利用目的

【現状】買い物利用が4割で一番多く、次に通勤利用が多い。

【分析】定時定路線であることなどから、通勤などにも利用されている。

利用目的 乗降調査平均



(4) 便別・曜日別利用者数

【現状】平日の利用は、10、16 時が多く、15 時や 17 時以降は少ない。土は、9～14 時台が多く、16 時以降は少ない。日は、10、15 時が比較的多く、9、13 時が比較的少ない。

【分析】平日土ともに 9 時以降～夕方までの利用が多い。日は便数が平日土よりも少なく選択肢も少ないことから、満遍なく利用されている。

便別 利用者数 (乗降調査平均)



便別 利用者数 (乗降調査平均)



(5) 通過人数

【現状】最大通過人数は、4～5 人となっている。また、全体の平均乗車人数は 1 人未満である。

【分析】1, 6, 7, 9, 10 便は、平均乗車人数が 1 人未満であり、運行便数の適正化について検討が必要。また、現在定員 45 人の車両で運行しており、経済性の観点から検討が必要。

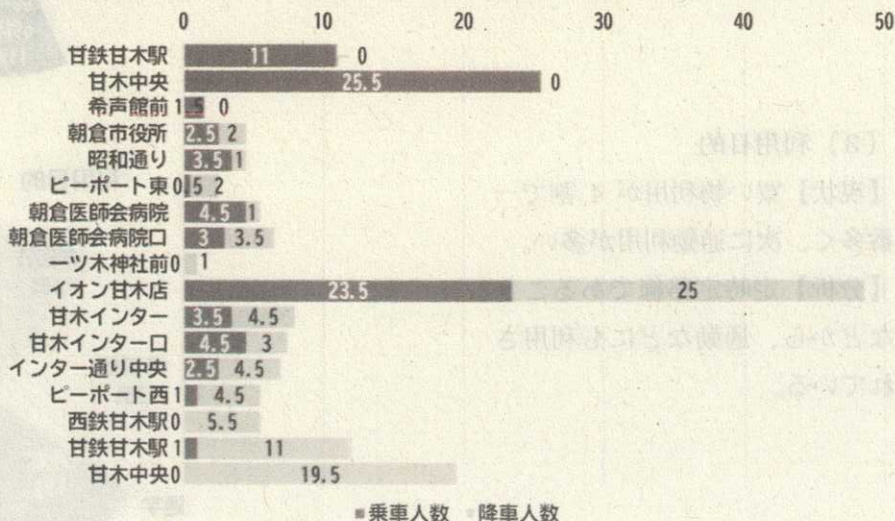
便	始発時刻	甘鉄甘木駅	甘木中央	希声館前	朝倉市役所	昭和通り	ビーポート東	朝倉医師会病院	朝倉医師会病院口	一ツ木神社前	イオン甘木店	甘木インター	甘木インター口	インター通り中央	ビーポート西	西鉄甘木駅	甘鉄甘木駅	甘木中央
1	8:25	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
2	9:26	1	1.5	1.5	2	2	1.5	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	1	1	0.5	0
3	10:27	1.5	3	3	2	2	1.5	2.5	2.5	2.5	2	2	1.5	1	0	0	0.5	0
4	11:28	0	1	1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1	0.5	0.5	0	0
5	13:09	1	1.5	1.5	1.5	1.5	1	1	0.5	0.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1	0
6	14:10	0.5	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0.5	1	1.5	1.5	1	1	0.5	0
7	15:11	0	0	0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	1	1	1	1	0	0
8	16:07	0.5	1	1.5	2	2	2	2	2	2	2	4.5	5	5	4.5	1.5	1.5	0
9	17:03	0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.5	1.5	2	2	1	1	0	0
10	18:04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0.5	0.5	0.5	0

(6) バス停別利用者数

【現状】利用がなかったバス停はない。甘鉄甘木駅や甘木中央から、イオン甘木店や、甘木インター、甘木インター口、朝倉医師会病院への利用が多い。

【分析】商業施設への移動に多く使われている。通勤利用では、医師会病院口やイオン甘木店、各駅、インター、インター口などが利用されている。

バス停別 利用者数 (乗降調査平均)



甘木市街地循環線の見直しについて

1 見直しの背景

市の中心市街地を結ぶ路線であり、市内外からの来訪者が利用。運行開始後 10 年以上が経過し、市街地の生活拠点や道路状況の変化、市役所の移転にあわせ、利便性の向上、市街地機能の強化のために見直しを図る。

2 課題

①車両規模（45 人乗り）に対し、利用者が少ない

・現在甘木観光バスが運行する小型バス（45 人乗り）については、導入してから 20 年以上が経過し、走行距離も 100 万 km を超え、車両更新時期を迎えている。次回も小型バスで運行するか、10 人乗りへ小型化する検討が必要。また小型化車両でリフト付きの車両の場合、後部座席の定員が最大 6 人になるため、輸送量が問題となる。

・令和 5 年度の乗降調査（6、9 月の平日と土 1 日）における便別最大通過人数は、6 人/便であり、令和 4 年度を含んだ 2 年間でも、8 人/便以下が 9 割を占める。

R5 年度乗降調査 最大通過人数

便	始発時刻	甘鉄甘木駅	甘木中央	希声館前	朝倉市役所	昭和通り	ビーポート東	朝倉医師会病院	朝倉医師会病院口	一ツ木神社前	イオン甘木店	甘木インター	甘木インター口	インター通り中央	ビーポート西	西鉄甘木駅	甘鉄甘木駅	甘木中央
1	8:25	0	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	0
2	9:26	1	6	6	6	6	6	6	6	6	3	2	2	1	1	1	1	0
3	10:27	2	6	6	6	6	6	6	6	6	4	4	4	4	3	3	2	0
4	11:28	0	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	3	2	1	1	0
5	13:09	2	4	4	4	4	4	5	5	5	4	3	2	3	5	5	2	0
6	14:10	1	1	1	1	1	1	1	6	6	2	2	3	3	3	3	1	0
7	15:11	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	2	0	0
8	16:07	1	2	3	4	4	4	3	3	3	3	6	6	6	6	3	3	0
9	17:03	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	1	0
10	18:04	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	0

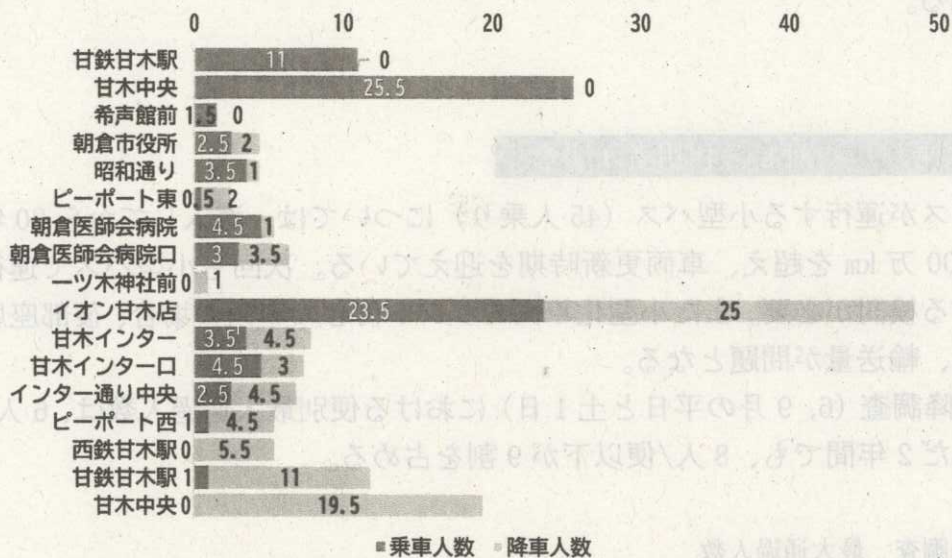
R4 年度乗降調査 最大通過人数

便	始発時刻	甘鉄甘木駅	甘木中央	希声館前	朝倉市役所	昭和通り	ビーポート東	朝倉医師会病院	朝倉医師会病院口	一ツ木神社前	イオン甘木店	甘木インター	甘木インター口	インター通り中央	ビーポート西	西鉄甘木駅	甘鉄甘木駅	甘木中央
1	8:25	2	5	5	5	5	5	4	4	4	4	3	3	3	3	3	2	0
2	9:26	3	4	4	4	5	5	6	7	7	2	2	2	2	2	2	0	0
3	10:27	4	8	8	8	7	7	10	9	9	5	5	3	3	2	2	2	0
4	11:28	1	3	3	5	5	5	6	5	5	2	2	3	2	2	1	1	0
5	13:09	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6	6	6	6	6	2	0
6	14:10	1	1	1	1	1	1	2	2	2	4	4	5	5	4	3	2	0
7	15:11	1	1	1	1	1	1	2	2	2	8	6	6	6	6	2	1	0
8	16:07	1	1	1	1	14	14	15	15	15	3	2	3	3	3	2	2	0
9	17:03	0	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	0
10	18:04	1	1	1	1	2	2	2	1	1	3	3	5	6	3	3	3	0

②車両が大きいため、コースが限られている

・乗降調査結果によると、商業施設への買い物需要が大きく、その中でも需要が高いAコープあまぎなどは、45人乗りの場合車両が入らないため、コースへの追加が不可能。

バス停別 利用者数（乗降調査平均）



③収支率は10%台で大変低い水準となっている。

・利用者数は、運行開始以降横ばいで微増となっており、一定の定着は見られるものの、収支率は10%台で低くなっている。

・運行経費の赤字分は市が全額負担しており、今後も運行を維持するために台数の追加等は難しい。

※運行経費は、甘木観光バスの路線バス運行経費を走行距離で按分し算出

利用者数と収支率



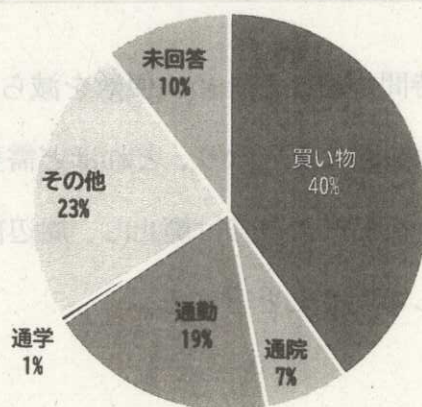
3 見直しの方向性

①現在の利用状況から、車両を小型化する。

令和5年度の乗降調査(6,9月の平日と土1日)における便別最大通過人数は、6人/便であり、令和4年度を含んだ2年間でも、8人/便以下が9割を占めることから、ワンボックスカー(10人乗り)を下回っていることや、小型バスが進入できないAコープあまぎなどの需要が高い施設へのアクセスするため、車両の小型化を検討する。

②現在の利用状況や車両の小型化により、より細やかな需要に対応する。

利用目的 乗降調査平均



・これまで通り、駅やバス停、公共施設(朝倉市役所)、大型店舗、朝倉医師会病院などの市街地の主要施設を結節するとともに、総合病院である甘木中央病院と朝倉健生病院、大型店舗で需要が高いAコープあまぎを新たにコースに追加する。

・乗降調査結果によると、利用目的で一番多いのは買い物であり、商業施設への需要が高いため、商業施設へのアクセスを強化する。

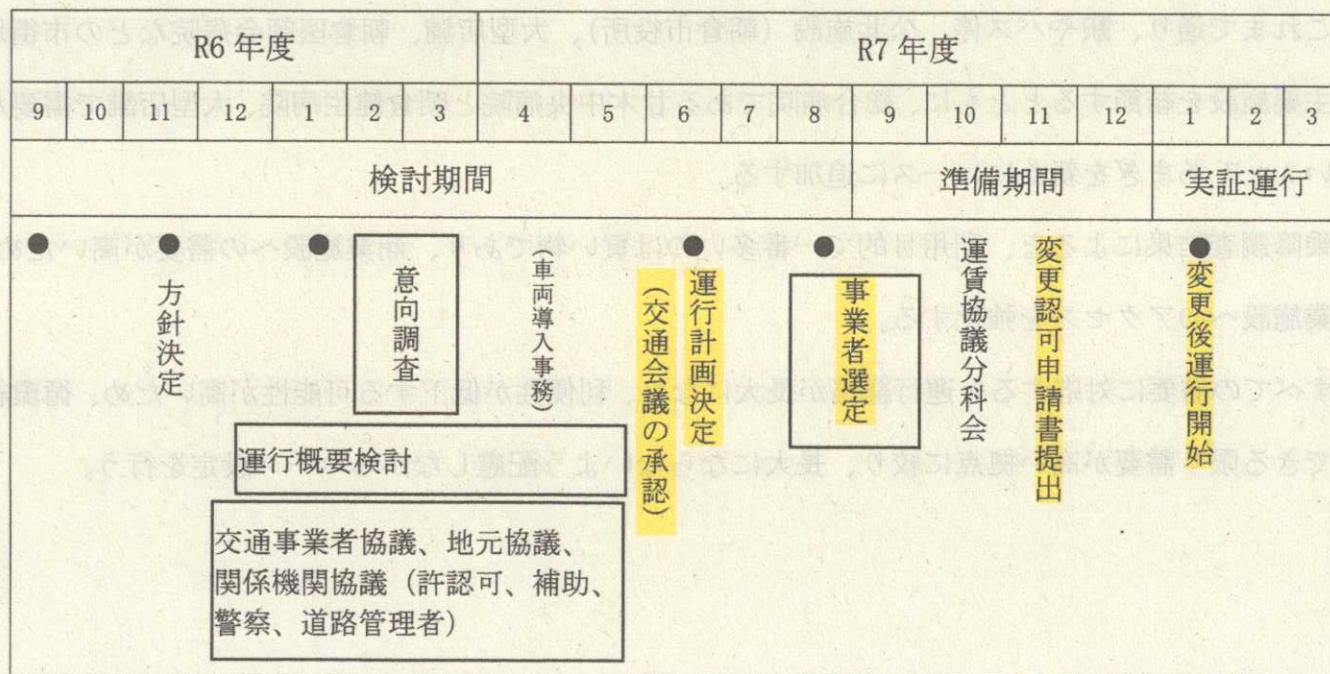
・すべての需要に対応すると運行経路が長大になり、利便性が低下する可能性が高いため、循環線はできる限り需要が高い拠点に絞り、長大にならないよう配慮しながらコース設定を行う。

③現在の運行形式とすることで、最小限の投資で、便数を確保する。

	現行	変更後	※左回りは現行を維持
所要時間	31～34 分/便	最大 40～45 分程度/便	市役所、甘木中央病院、朝倉健生病院、A コーブ あまぎを追加 ピーポート西・東を廃止
運行間隔	1 便/1 時間程度	1 便/1 時間 10 分程度	※右回りのみ
運行時間帯	8～19 時 (昼休み 1 時間)	8～19 時 (昼休み 1 時間)	変更なし※右回りのみ
便数	10 便	8～9 便	1～2 便減便

- ・バス停の追加、廃止により所要時間が増えるため、便数を減らして運行する。
- ・現朝倉市役所移転後の需要が甘木公園のみとなり、どれほど需要があるか不明なため、実証運行期間中はバス停を継続するが、利用状況によっては廃止し、周辺部の集落については、事前予約型の区域運行により、面的にカバーしていくこととする。

4 スケジュール



5 運行概要案

	現行	変更案
車両	・ 右回り車両小型バス（45 人乗） ・ 左回り車両美奈宜の杜線車両（10 人乗）	・ 右回り車両小型バス（45 人乗）を 10 人乗へ更新 ・ 左回り車両は今まで通り美奈宜の杜線車両（10 人乗）
台数	2 台（1 台は美奈宜の杜線を兼ねる）	左に同じ
運行方法	右回り専用車両＋左回り美奈宜の杜線からの接続で運行	左に同じ
運行日	毎日運行	左に同じ
便数	平日土 右回り 10 便 左回り 5 便 日祝 右回り 5 便 左回り 5 便	平日土 右回り 8～9 便程度 左回り 5 便程度 日祝 右回り 4 便 左回り 4 便程度
運賃	一般（中学生以上）100 円、 小学生 50 円、幼児・乳児無料	左に同じ
コース	現行コースの通り	変更コース案の通り
メリット	・ 45 人乗りのため、積み残しはほとんど発生しない	・ 車両小型化により、今まで行けなかった目的地まで直接行くことができる
課題	・ 郊外部の利用者は、循環線の目的地へ行きたい場合は、乗り換えが必要	【利用者】 ・ バス停を追加する結果、現在の便数より減少する（2 便程度）可能性が高い。（労働条件の規制有） ・ 郊外部の利用者は、循環線の目的地へ行きたい場合は、今まで通り乗り換えが必要 【その他】 ・ あいのりタクシー美奈宜の杜線が運行しない振替休日・日祝日・年末年始については、1 日 8 便程度（片道 4 便）になり、便数の確保が課題

6 コース案

